

抗菌名刺 導入しませんか!



安心



イメージアップ



差別化



営業意欲向上

新型コロナウイルス感染症の流行、夏季の細菌性食中毒、寒気のインフルエンザウィルスの流行などにより現在、社会全体の衛生意識は急激に高まっております。

特に現在進行形であるコロナ禍の影響は多大であり社会を構成する一部として企業（法人）単位においてもその対応姿勢が問われているのは皆様方も感じておられる所だと考えます。

このような情勢下、半世紀以上にわたり印刷業を営んでまいりました弊社と致しましても大切なお客様方の経済活動の一助となるべく抗菌仕様を施した印刷物の企画に取り組みました。多岐に及ぶ印刷物の中でも直接人の手から手へと渡る機会が多いツールである上、基本的に大切なお客様の元に留まる物であることからまずは「抗菌名刺」のご提案をさせていただきます。

受け取って頂く方への気配りは渡す側の安心にもつながります。企業・店舗様のイメージアップはもちろん営業各位様の活動意欲の一助にもなると考えます。

抗菌名刺の特長と抗菌性について

◆抗菌とは？

製品の表面上に付着した細菌の増殖を抑制すること。
細菌による人体への悪影響は、細菌が一定量を超えて増殖した場合がそのほとんどです。
菌を一時的に死滅させる「殺菌」、除去する「除菌」とは異なるものです。

◆抗菌印刷とは？

抗菌印刷とは、抗菌性のあるニスを用紙に印刷することにより抗菌の層を形成し、抗菌効果のある印刷物を作成することができる印刷のことをいいます。

◆抗菌ニスとは？

弊社の抗菌印刷は抗菌性のあるニス、「抗菌プラスにおわなインキ」を使用しております。
これにより、高い抗菌性を持った印刷物のご提供が可能です。

※抗菌剤の安定性
化粧品やデオドラントスプレーなどで使用される銀イオンを抗菌剤として使用しております。
細菌が銀イオンを取り込むと増殖（細胞分裂）をすることができなくなるのです。

※抗菌剤の効果持続
抗菌剤として使用している銀イオンは金属のため自然消滅をするものではありません。
また、細菌が銀イオンを取り込むということは銀イオンが減っているということに間違いございませんが、細菌が銀イオンを食べ尽くすよりも細菌が少なくなる方が早いので、持続としては実質のところ半永久的です。

※現在流行中の「新型コロナウイルス」につきまして、特段その効果が検証されているわけではありません。



抗菌プラスにおわなインキ
抗菌加工製品登録証明書



抗菌プラスにおわなインキ
抗菌インキの抗菌性試験データ (JISZ2801)

試験菌	測定	試験片	生菌数
黄色ぶどう球菌	接触直後	無加工	14,100
	室温23℃ 湿度39% (24h後)	無加工	800
		抗菌プラスにおわなインキ	検出せず
大腸菌	接触直後	無加工	14,100
	室温23℃ 湿度39% (24h後)	無加工	1,071,500
		抗菌プラスにおわなインキ	検出せず

抗菌製品技術協議会持続性基準の耐光処理【区分1】を試験前に施した試験データ光（特に紫外線）に曝されることで、製品表面から機能が失われ、その性能が低下することを想定し、耐光性試験区分で定めた試験条件（試験装置と照射時間）で加速試験を実施した後のデータ。

試験菌	測定	試験片	生菌数
黄色ぶどう球菌	接触直後	無加工	12,800
	室温23℃ 湿度39% (24h後)	無加工	5,500
		抗菌プラスにおわなインキ	検出せず
大腸菌	接触直後	無加工	14,100
	室温23℃ 湿度39% (24h後)	無加工	977,200
		抗菌プラスにおわなインキ	検出せず

TOTAL PRINTING COMPANY.



株式会社 印刷の栄文社

◆本社：〒501-2579 岐阜市太郎丸知之道161-7 TEL:058-229-6300(代) FAX:058-229-5200
◆支社：〒464-0850 名古屋千種区今池二丁目1番16号 八見ビル 210号室 TEL:052-732-8230(代) FAX:052-732-8231